

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		定員10名に対して放課後等デイサービス支援訓練室(34.78㎡)、遊戯室(71.22㎡)を設けており十分なスペースとなっている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		配置数は適切であるが常勤職員に業務負担がかかっている。一方、非常勤の児童指導員1名、補助学生の3名は特別支援教育専攻であるため療育において常勤職員との相乗効果を期待している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		令和5年2月に完成した新築の施設であり、バリアフリー化等も含めて子どもたちの活動に配慮された設計となっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎朝のスタッフミーティング、回覧と声掛けを実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			該当なし 今回初回
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			該当なし 今回初回
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			該当なし 今回初回
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		研修は充実している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		聞き取り文書を使用し把握に努めている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		原案作成前後の指導員の意見に基づいて本案を作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		月の計画、日誌(活動)による話し合いを行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		子どもたちに理解しやすい流れの表示し方(平日、長期休暇は違う内容)を全体表示(内容の組み立て)している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		ミーティングの記録:パート職員は出勤時に確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終了時残っている職員が振り返りを行いパート職員の先生方には前日の振り返りを翌日の打ち合わせ時に行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		主に児発管であるが、必要な場合は指導員も可能な範囲で参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校の情報は保護者様を通じ写しを保管している。出迎え時に遅れが生じる場合は必ず学校に連絡を入れることとしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			対象となる子がいない。対象となる児が利用する場合はその主治医と連絡体制を整える予定。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		個別に生活面等理解の必要な子は保護者様の許可を得た上で相談支援専門員と連携を取り、訪問・情報共有を図っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			対象となる子は当分の間いない。将来的には対応していく予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要な内容は連絡し、助言をもらっている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	午後の時間の参加が難しい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		ペアトレは行っていないが、子育て支援に向けての個別の相談や助言を行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	父母の会は現在の所組織していない。今後の検討課題である。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		試行として保護者様とグループLINEを作り、情報を発信している。保護者様のご意見等を参考に今後改善を加えて行く予定である。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		近隣住民に開設の挨拶をするとともに令和5年4月1日開園セレモニーの案内を手渡した。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		防災に関する冊子を活用し、毎月行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			対象となる子がいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			対象となる子がいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		